



第17回 ~夢は続く~【卒業と門出】九州 鹿児島県初開催  
JCF学生映画祭 in奄美大島&与路島



絵：関口 聡  
書：関口 光訊  
ことば：Ririka

### 与路島プログラム

- 開催日／2024年3月8日(金)・9日(土)
- 会場／鹿児島県奄美大島与路島公民館

### 奄美大島プログラム

- 開催日／2024年3月23日(土)・24日(日)
- 会場／アマホームプラザ(旧奄美市市民交流センター)

- 主催／JCF学生映画祭実行委員会
- 共催／共催:IAHF JAPAN(国際動物病院連盟)、絶滅危惧種保護プロジェクト Save the Red List Project
- 特別協賛／ エルムスユナイテッド動物病院グループ
- 企画・制作／株式会社サステナブルツーリズムジャパン、株式会社CJCASA プロデュース／ TARGET INC.
- 後援／一般社団法人ナショナルパークスジャパン、AnimalHospital HeadLine NEWS、E-Animal Hospital  
協力／NEW WAVE、ドリームキッド、与路小中学校、与路島集落

[www.jcf.jpn.com](http://www.jcf.jpn.com)



# 17回目となるJCF学生映画祭 九州初開催にあたって



「JCF学生映画祭」は【才能の発掘と育成】をコンセプトとし、大学生の映画研究会や同好会、芸術系大学、専門学校の学生等が制作した作品を対象としたコンペティション部門である学生映画アワードの開催と、その受賞監督を対象に新作支援を行うスカラシップ(JCFスカラシップ制度)を特徴とした学生映画祭です。

その歴史は、1999年に北海道夕張市から、大学生のサークル団体の連盟である「JCF日本サークル連盟」に、市が主催していた頃の「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭(現在同名の映画祭とは違う映画祭)」の10周年特別協賛企画としての学生映画祭開催依頼があり、それに応える形で、映画プロデューサー・高秀蘭を実行委員長、学生支援を行うGETTIグループの代表・太田雅人をジェネラルプロデューサーとして「JCF学生映画祭実行委員会」を組織し、「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」特別協賛企画・第一回JCF学生映画祭として開催したことに遡ります。第1回開催以降、続く2000年、2001年の第二回、第三回も協賛企画として夕張市で開催し、その後、都道府県、市町村、マスメディア、映画関係者、大学関係者、企業スポンサー様等多くの方々のご協力の下、北海道で5回、鳥取県で3回、東京都で2回、山形県、長野県、愛知県、大阪府、香川県、沖縄県で各1回、合計16回を全国で開催して参りました。

この度、初の九州エリア・鹿児島県奄美大島での第17回の開催は、コロナ禍の環境下でオンライン中心の開催となった前回の香川県開催と違う、本来の形式で開催させていただきます。



当学生映画祭の歴代受賞学生監督やスカラシップ授与学生監督は、卒業後、プロの現場で数多く活躍しており、『君の膵臓を食いたい』等のメジャー作品の監督である月川翔(つきかわ しょう)監督(第5回JCF学生映画祭グランプリ受賞・JCFスカラシップ授与監督)等を輩出しております。

当学生映画祭は、学生たちの夢を応援して参ります。そして、学生たちのひたむきな姿は、開催地の同年代の若者や大人を含め、全世代を勇気づけるものと信じております。

JCF学生映画祭 実行委員長・審査員 高 秀蘭

JCF学生映画祭 実行委員・審査員・ファウンダー・ジェネラルプロデューサー 太田 雅人

## 開催概要

名 称	第17回JCF学生映画祭 in 奄美大島&与路島
開催目的	開催目的『将来を担う若手クリエイターの発掘・育成』を目標に1999年から開催されてきたJCF学生映画祭は、北海道・夕張で生まれ、通算16回開催して参りました。長きにわたったコロナ禍がようやく明けた2024年、学生の才能の発掘と育成を目指し学生の夢とともに第17回JCF学生映画祭を開催いたします。
開催日	■与路島プログラム 2024年3月8日(金)・9日(土) 会場:鹿児島県奄美大島与路島公民館
開催場所	■奄美大島プログラム 2024年3月23日(土)~24日(日) 会場:アマホームプラザ(奄美市市民交流センター)
主催	JCF学生映画祭実行委員会
共催	共催:IAHF JAPAN(国際動物病院連盟)、絶滅危惧種保護プロジェクト Save the Red List Project
特別協賛	 <b>エルムスユナイテッド動物病院グループ</b>
実行委員	実行委員長・審査員:高 秀蘭(映画プロデューサー) 実行委員・審査員:大和田 廣樹(映画プロデューサー) 実行委員・審査員:太田 雅人(GETTIグループ 代表・JCFスカラシップ委員長) 実行委員:荒川 弘之(株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ 代表) 実行委員:立石 聡明(株式会社TARGET 代表取締役社長) 審査員:忽那 高広(株式会社ザフト メディアワークス 代表取締役・メディアプランナー・CP)
顧問・事務局長	顧問:久保 健太(Save The RED LIST Project 事務局長) 顧問:リチャード・ピアス(一般社団法人ナショナルパークスジャパン 理事) 顧問:小澤 智雄(IAHF Japan(国際動物病院連盟)日本事務局長・ウェブスクエア 代表取締役社長) 事務局長:東條 勝弘(EUガイダンス・サステナブルツーリズムジャパン 代表)
プログラムディレクター	オオタ マキ
運営	JCF学生映画祭運営事務局
企画・制作	株式会社サステナブルツーリズムジャパン、株式会社CJCASA
プロデュース	 株式会社TARGET
後援	一般社団法人ナショナルパークスジャパン、AnimalHospital HeadLine NEWS、E-Animal Hospital
協力	NEW WAVE、ドリームキッド、与路小中学校、与路島集落

## 実行委員



### 実行委員長・審査員

#### 高 秀蘭 映画プロデューサー

台湾テレビのプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年ニューウエーブを設立。以降、中国語圏の優れた監督の製作・配給に関わってきた。カンヌ映画祭グランプリを受賞した台湾の侯孝賢(ホウ・シャオ・シェン)監督の「非常都市」(1988年)、「戲夢人生」(1991年)のプロデュースを始め、中国の張芸謀(チャン・イーモウ)監督の「紅藜」(1991年)、「活着」上海ルージュ(1995年)、「何平」(ハー・ピン)監督の「哀愁花火」のポストプロダクションを努めた。陣凱歌(チェン・カイコー)監督とは「さらば、わが愛 霸王別姫」(1993年/カンヌ映画祭パルムドール受賞)、「花の影」(1996年)「始皇帝暗殺」(1998年)、「鳳凰わが愛」(2008年)、「新宿インシデント」(2009年)、「エヴェレスト 神々の山嶺」(2016)、「空海-KU-KAI-美しき大妃の謎」(2018)、「キングダム」(2019)のプロデュースを手掛ける。



### 実行委員・審査員

#### 大和田 廣樹 映画プロデューサー

大学卒業後、メディア関連のコンサルタント業務を経て、96年に株式会社インターネット総合研究所(IRI)の設立に参画。同社は、99年に東京証券取引所マザーズ市場の第1号として上場する。02年、株式会社ブロードバンドタワー(BBT)の社長、現在は株式会社ECBOスクエア代表取締役会長。03年ブロードバンドユーザー向けのドラマを製作するネットシネマ事業を開始し、「D-5 Project」として林海象監督と「探偵事務所5」シリーズを共同プロデュースする。また、映画プロデューサーとしても「もんしえん」(06)、「松か根乱射事件」(06)、「ドルフィンブルー。もういちど宙へ」(07)、「奇子」(08)、「ぐるりのこと。」(08)、「ニセ札」(09)、「THECODE/暗号」(09)、日台合作映画「南風」(14)、「ディストラクション・ベイビーズ」(16)、「癒しのこころみ〜自分を好きになる方法〜」(20)、「BOLT」(20)「シェアの法則」(23)、「市子」(23)などを手掛けている。今年初夏には「風の奏の君へ」が公開予定である。他に2020年に初の長編小説「氷雪星のカルテット」が幻冬舎から発売。



### 実行委員・ファウンダー・ジェネラルプロデューサー・審査員・JCFスカラシップ 委員長

#### 太田 雅人 GETTIグループ 代表・一般社団法人ナショナルパークスジャパン 理事・一般社団法人クールジャパン協議会 会長

1965年大阪生まれ。大阪府立大手前高校卒。関西学院大学経済学部卒。(株)GETTI代表取締役。1986年、大学在学中に企画マーケティング団体を設立し起業。大学卒業後に日本電気(株)NECを経て1992年に後輩達と株式会社ゲッティとして法人化。以降、大手企業クライアントや大学、自治体、省庁のブランディングや地域活性化支援を行う傍らメディア開発、事業開発、事業投資を行うグループ事業会社を設立。2016年創業30周年を機に東京大学医学部附属病院とのiPS細胞の共同研究を行う現(株)GettiMedico(旧神戸医療特区内のOne Medicine, One Healthセンター)を設立し医療事業に参入。CSRとして日本の素晴らしい文化と自然を守り日本の発展の礎にすべく(一社)クールジャパン協議会と(一社)ナショナルパークスジャパンを設立し理事・ファウンダーに就任。現在、ブランディング、マーケティング、地域活性化、建築デザイン、メディカル関連の事業領域を行う16社(3社含む)で構成するGETTIグループの代表。



### 実行委員

#### 荒川 弘之 株式会社エルムスユニテッド動物病院グループ 代表取締役社長

1958年3月31日生まれ。東京都出身。1983年 東京大学農学部畜産獣医学科卒。1985年 同大学院 農学生命科学研究科修了。1985年4月 藤沢薬品工業(株)(現アステラス製薬)入社し、同社つくば研究所にて薬理研究を担当、テクノロジーグループリーダーとして管理職を経験。2009年~2017年 臨床経験の重要性を志向し東京大学動物医療センターにて研修受講後、民間動物病院での勤務や院長を経験し臨床と病院運営マネジメントの経験を積む。2017年8月先進医療を臨床医療への応用を目指すエルムスユニテッド動物病院グループに入社。その後、文京院の院長を経て、当社設立時から代表取締役に就任。



### 実行委員・プロデューサー

#### 立石 聡明 株式会社TARGET 代表取締役社長・一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 副会長兼専務理事

1965年徳島県生まれ。1988年早稲田大学商学部卒。一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会副会長兼専務理事、特定非営利活動法人地域間高速ネットワーク機構理事長、京都情報大学院大学准教授他  
1995年に徳島で最初のISPを開設。地域の情報化(地域の自然、伝統文化の保護など)から国際的なインターネットのガバナンス問題に取り組んでいる。



### 審査員

#### 忽那 高広 株式会社ザフト メディアワークス 代表取締役・メディアプランナー・CP

1972年9月9日生まれ。愛媛県 松山市出身。(株)ザフトメディアワークス代表取締役。  
(株)共同テレビジョン勤務を経て映像制作会社を設立。映像制作ではCMやプロモーションビデオ・番組制作ではNHKスポーツ番組やニュース番組制作。日本テレビ等へ人材映像派遣を行う番組制作支援を行う傍ら、AKB48グループ等のLIVE映像プロデューサーMVなどヒットPV作品にも参加。

## 顧問・事務局長



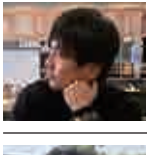
### 顧問 Richard Pearce 一般社団法人ナショナルパークスジャパン 理事・NPO法人サステナブル大山 代表理事

イギリスの大学で環境マネジメントを学びタンザニアとマダガスカルでの森林調査や南アフリカではサファリガイドの資格を取得。2013年からアジアでアドベチャー・ツーリズムやネイチャー・ガイドとして活動を開始。日本では鳥取県の霊峰・大山と三徳に魅せられ、何年にもわたってこれらの山をガイドし、探検しこれらの場所への愛情と関心をさらに深めた。2018年からは気候変動と人間の活動による大山の河川、森林、農地に深刻な影響を痛感し、特にオオサンショウウオの保護活動の必要性を感じ「NPO法人サステナブル大山」を設立。現在、絶滅危惧種やそれを取り巻く環境とツーリストの両方に利益をもたらす本物のエコツーリズムを目指しIUCN(国際自然保護連合)、数々の大学、アメリカ海兵隊など、さまざまな主要組織と協力し実践しオオサンショウウオの保護。観察ツアーは世界的に有名になり、今や世界各地から人々が訪れるようになった。2023年(一社)ナショナルパークスジャパンの理事に就任し野生生物保護活動団体支援に着手。



### 顧問 小澤 智雄 IAHF Japan(国際動物病院連盟)日本事務局長・ウェブスクウェア 代表取締役社長

同志社大学法学部卒業。  
2001年8月 ウェブスクウェア創業、代表取締役に就任。設立2001年から現在までのシステム導入先企業数は数千に及ぶ。ものづくり=プロダクト主義をモットーに、エンジニアファーストの環境を重視し、エンジニアが自ら考え行動に移せる開発環境構築を推進。プロダクトを提供することで、社会に付加価値を提供することを常に心がけている。



### 顧問 久保 健太 Save The RED LIST Project 事務局長

福井県小浜市出身。  
2000年12月3日生まれ。2023年3月 神戸大学国際人間科学部グローバル文化学科学卒 2023年4月 京都大学大学院人間・環境学研究所(哲学・環境思想を専攻)入学。神戸大学時代、環境サークル「えこふる」を仲間と創設し、大学のSDGsフォーラムや小学校への出前授業、兵庫県知事と議論する「学生未来会議」などに参加。現在は京都大学にて、環境問題にかかわるさまざまな思想を研究中で、【ペット共生社会】や【サステナブルアイランド構想】の実現を思想的にアプローチ中。



### 事務局長 東條 勝弘 EUガイドランス・サステナブルツーリズムジャパン 代表取締役社長

1975年10月11日鳥取県生まれ。  
広告デザイン会社勤務を経て、28歳で独立。デザイン会社を設立し地元鳥取県・米子市のコンテンツビジネスや大山のブランド化活動の立ち上げに参加し協議会で事務局を担当。2018年より実行委員会形式で主催する「地ビールフェスタin米子」は地域活性化活動の全国的な成功事例に成長。2019年7月、EUガイドランス・サステナブルツーリズムジャパン(旧ナショナルパークスツーリズム)の代表取締役社長就任。



**第1回**  
 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭  
 10周年特別協賛企画  
 第1回JCF学生映画祭  
 ★2000年2月21日  
 ★夕張市民会館特設ホール  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「The Fates～フェイツ～」  
 監督：飯島 明(東京学芸大学)  
 ★準グランプリ「CAFÉ:ON THE NIGHT」  
 監督：小野寺 圭介(北海道大学)

**第2回**  
 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭  
 協賛企画 第2回JCF学生映画祭  
 ★2000年2月19日～20日  
 ★夕張市民会館シネサロン  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「素人娘(秘)マッサージ」  
 監督：耶雲 哉治(早稲田大学 第二文学部)  
 ★準グランプリ「ヒコキ雲」  
 監督：花見 正樹(関西大学 工学部)

**第3回**  
 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭  
 協賛企画 第3回JCF学生映画祭  
 ★2001年2月16日～17日  
 ★夕張市民会館シネサロン  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「鶴譚」  
 監督：仲井 陽(早稲田大学 社会科学部)  
 ★準グランプリ「帰ってきたあいつ」  
 監督：松川 さやか(大阪芸術大学 映像学科)

**第6回**  
 第6回JCF学生映画祭  
 in 愛地球博 EXPO  
 ★2005年3月31日  
 ★愛地球博 EXPOホール  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「充電」  
 監督：松本明子(日本大学芸術学部)  
 ★準グランプリ「たれたれ」  
 監督：金澤麻由子(京都嵯峨芸術大学)

**第7回**  
 第7回JCF学生映画祭  
 ★2006年9月23日～24日  
 ★東京国立博物館  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「シェアリング」  
 監督：清水艶(大阪芸術大学卒)  
 ★準グランプリ「こいのぼり」  
 監督：辻下直美(慶応義塾大学卒)

**第8回**  
 夕張国際学生映画祭2007  
 ★2007年2月25日～28日  
 ★夕張市 ホテルシェーパロ  
 [受賞監督]  
 ★国際学生映画コンペティション グランプリ  
 「HAPPY NEW YEAR」  
 監督：イスラエル Michal Hagi  
 ★夕張Students' Conception グランプリ  
 「チーム[SONTRY]」  
 監督：坂本達夫、松村卓也(東京大学)

**第11回**  
 第11回JCF学生映画祭 in Tottori  
 ★2012年9月14日～15日  
 ★米子コンベンションセンター  
 [受賞監督]  
 ★学生映画アワード「波紋」  
 監督：斎藤弘明(早稲田大学院)  
 ★学生アニメアワード「夜から来た人たち」  
 監督：摩浩子(東京芸術大学大学院)

**第9回**  
 夕張国際学生映画祭2008  
 国内学生映画AWARD  
 ★2009年2月22日～24日  
 ★夕張市 ホテルシェーパロ  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「少年少女」  
 監督：小栗はるひ  
 ★準グランプリ「true tune」  
 監督：初野一英

**第12回**  
 第12回JCF学生映画祭 in Tottori  
 ★2013年10月14日  
 ★米子コンベンションセンター  
 [受賞監督]  
 ★学生映画アワード「漁火」  
 監督：沢田啓吾(日本映画学校卒業)  
 ★学生アニメアワード「LIFE LINE」  
 監督：西村丞二(デジタルハリウッド大学3年)  
 ★学生マンガアワード「さだこさんのおんがえし」  
 幸村佳苗(宝塚大学)

**第14回**  
 ワオ・コーポレーションpresents  
 第14回JCF学生映画祭  
 ★2016年11月25日～26日  
 ★大阪市 心斎橋SUNHALL 他  
 ★短編部門グランプリ「キミの隣のボクへ」  
 監督：小林令奈(慶應義塾大学)  
 ★長編部門準グランプリ「マインドギア」  
 監督：長尾淳史(立命館大学)  
 ★長編部門門外漢「灰色の青春」  
 監督：天野友二郎(鳥取大学大学院)  
 ★長編部門準グランプリ「WILL」  
 監督：土井笑生(龍谷大学)

**第10回**  
 第10回JCF学生映画祭 in Tottori  
 ★2011年11月19日～20日  
 ★米子コンベンションセンター  
 [受賞監督]  
 ★映画部門グランプリ「HOLD UP」  
 監督：斎藤弘明  
 ★アニメ部門グランプリ「街を背負う男」  
 監督：井上有希

**第15回**  
 第15回JCF学生映画祭 in Nagano  
 飯田プログラム  
 ★2019年3月2日  
 ★長野県飯田市 YAMAIRO guest house  
 松本プログラム  
 ★2018年12月1日  
 ★長野県松本市 信州大学松本キャンパス  
 [受賞監督]  
 ★学生映画アワード長編「トブ川番外地」  
 監督：渡邊安悟(大阪芸術大学)  
 ★学生映画アワード長編「路上ライブ」  
 監督：大林泉輝(桜美林大学)  
 ★学生映画アワード短編「なみぎわ」  
 常間地裕(多摩美術大学)  
 ★学生映画アワード短編「僕の秘密の東京」  
 王奔(東京放送芸術&映画、俳優専門学校)

JCF学生映画祭の軌跡

1999年 2月 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の10周年特別協賛企画として第1回JCF学生映画祭開催。  
 2000年 2月 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の協賛企画として第2回JCF学生映画祭を開催し300を超える応募作品が応募。  
 2001年 2月 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の協賛企画として、第3回JCF学生映画祭開催。グランプリ受賞監督に投資し、プロのスタッフと共に映画制作する機会を与える「JCFスカラシップ制度」が始動。  
 2002年 5月 「JCFスカラシップ制度」により、第3回グランプリ受賞監督の新作がクランクイン。  
 2002年 7月 アジアへの展開を視野に入れ、沖縄県那覇市にて第4回JCF学生映画祭開催。アジアムービーフェスティバルをショートショートムービーフェスティバルと共催で同時開催。香港・台湾・中国・韓国のアジア4地区から学生監督を招待。  
 2004年 3月 東京・お台場にて第5回JCF学生映画祭開催。  
 2004年 5月 東京(6月6日)・名古屋(7月3日)・神戸(9月6日)にて記念上映会を実施。  
 2005年 3月 愛・地球博(愛知万博)のパートナーシップ事業として、愛知万博会場にて第6回JCF学生映画祭開催。  
 2005年 11月 「JCFスカラシップ制度」により、第5回グランプリ受賞の月川翔監督の新作が、テアトル池袋で公開上映。  
 2006年 3月 運営を完全に学生だけが行う形のフレームjに移行し東京・上野の東京博物館で第7回を開催。  
 2007年 2月 夕張財政破綻の報を聞き、JCF学生映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをすべく、夕張国際学生映画祭2007を夕張の地で開催。  
 2008年 2月 2007年に引き続き、夕張国際学生映画祭2008を夕張の地で開催。  
 2011年 11月 記念すべき第10回JCF学生映画祭を鳥取県の特別後援(県補助事業)で開催。  
 2012年 9月 2011年に引き続き、第10回JCF学生映画祭を鳥取県で開催。  
 2013年 10月 三年連続鳥取県助成にて米子市において9月から10月に開催される、クリエイティブイベント「ヨナゴワンダー」の最終日に開催。映画部門、アニメ部門に加えてマンガ部門を新設し、第12回JCF学生映画祭を開催。  
 2014年 11月 11月12日から11月15日に第10回山形国際ムービーフェスティバルと連携し第13回JCF学生映画祭を初の東北での開催。  
 2016年 11月 11月26日にワオ・コーポレーション様特別協賛の元、心斎橋SUNHALLにて第14回JCF学生映画祭を初の関西での開催。  
 2018年 12月 12月1日に松本プログラムとして信州大学松本キャンパスにおいて長野県観光インスタアワード、長野県ドローンショートフィルムコンテスト、2019年3月2日飯田プログラムとしてYAMAIRO GUEST HOUSEにおいて学生映画アワード・パネルディスカッション第15回JCF学生映画祭を開催  
 2020年 12月 12月13日に初の四国開催として、香川県高松市で、「第16回JCF学生映画祭」の表彰式イベントを開催し、各部門の表彰式、受賞作品上映、オンライントークイベント等をコロナ禍の中香川県の特別後援(県補助事業)として開催。

Since 1999  
 学生の才能の発掘と育成を目指し  
 学生の夢とともに開催

第4回 JCF学生映画祭 in 沖縄  
 ★2002年7月3日～7日  
 ★那覇市りゅうぼうホール  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「さくらの夢」  
 監督：木村明子(日本大学)  
 ★準グランプリ「床下水面下」  
 監督：斎藤ゆふき(武蔵野美術大学)

第5回 JCF学生映画祭 in お台場 大江戸温泉  
 ★2004年3月20日  
 ★大江戸温泉  
 [受賞監督]  
 ★グランプリ「パラノイア」  
 監督：月川 翔(成城大学 法学部)  
 ★準グランプリ「LOVE JACK」  
 監督：有田 豊広(慶應義塾大学 環境情報学部)

第13回 JCF学生映画祭 in 山形  
 ★2014年11月12日～15日  
 ★山形市 MOVIEONやまがた(山形国際ムービーフェスティバル会場) 他  
 [グランプリ作品]  
 ★短編部門「陽だまりの花」  
 監督：相馬寿樹(日本大学芸術学部4年)[相馬樹]  
 ★長編部門「麻子タマとわたし」  
 監督：高杉麻子(日本大学芸術学部卒)  
 ★高等・高校生部門「道化師の悪戯」  
 監督：映画研究部 上野英介(国学院高校3年)

第16回 JCF学生映画祭 in 香川県高松市  
 ★2020年12月12日～13日  
 ★香川県高松市 ゲットホール  
 [受賞監督]  
 ★学生ムービーアワード「クリスマス・グリーティング」  
 監督：西遼太郎(佐賀大学)  
 ★学生ムービーアワード「儘ならぬ恋の目論見」  
 監督：小山 和生(東北芸術工科大学)  
 ★ショートムービーアワード「ACCEPT」  
 楊翔安(武蔵野美術大学)  
 ★ショートムービーアワード「だれもない」  
 平野汐音(名古屋学芸大学)

第17回 JCF学生映画祭 in 奄美大島&与路島  
 ★与路島プログラム  
 ★2024年3月8日～9日  
 ★鹿児島県奄美大島与路島公民館  
 ★奄美大島プログラム  
 ★2024年3月23日～24日  
 ★アマホームPLAZA(奄美市市民交流センター)

第1回 学生映画アワード部門 グランプリ 東京学芸大学「The Fates～フェイツ～」 飯島明/準グランプリ 北海道大学「CAFÉ:ON THE NIGHT」 小野寺圭介  
 第2回 学生映画アワード部門 グランプリ 早稲田大学「素人娘(秘)マッサージ」 耶雲哉治/準グランプリ 関西大学「ヒコキ雲」 花見正樹  
 第3回 学生映画アワード部門 グランプリ 早稲田大学「鶴譚」 仲井陽/準グランプリ 大阪芸術大学「帰ってきたあいつ」 松川さやか  
 第4回 学生映画アワード部門 グランプリ 日本大学「さくらの夢」 木村明子/審査員特別賞 武蔵野美術大学「床下水面下」 斎藤ゆふき  
 第5回 学生映画アワード部門 グランプリ 成城大学「パラノイア」 月川翔/準グランプリ 慶應義塾大学「LOVE JACK」 有田豊広  
 第6回 学生映画アワード部門 グランプリ 日本大学芸術学部「充電」 松本明子/グランプリ 京都嵯峨美術大学「たれたれ」 金澤麻由子  
 第7回 学生映画アワード部門 グランプリ 大阪芸術大学「シェアリング」 清水艶/準グランプリ 慶應義塾大学「こいのぼり」 辻下直美  
 第8回 国際学生映画コンペ グランプリ イスラエル「HAPPY NEW YEAR」 Micheal Hagi/Short Movie Award グランプリ 東京大学「チーム SONTRY」 坂本達夫  
 第9回 学生映画アワード部門 グランプリ ENBUゼミナール「少年少女」 小栗はるひ/学生映画アワード部門 準グランプリ 東放学園映画専門学校「true tone」 初野一英  
 第10回 学生映画アワード部門 グランプリ 早稲田大学「HOLD UP」 斎藤弘明/準グランプリ 立命館大学「ある部屋の重さ」 水川史也  
 学生アニメアワード部門 グランプリ 宝塚造形芸術大学「街を背負う男」 井上有希/準グランプリ 大阪コミュニケーションアート「GASUO'S MOVIE イストリ編」 川岸 瑠次  
 学生アニメアワード部門 グランプリ 早稲田大学大学院「波紋」 斎藤弘明/準グランプリ 立命館大学「哀の夜明け」 竹内彩紗/  
 学生アニメアワード部門 グランプリ 東京芸術大学大学院「夜から来た人たち」 摩浩子/準グランプリ 東京芸術大学大学院「隠れん坊」 白石慶子  
 第12回 学生映画アワード部門 グランプリ 日本映画大学「漁火」 沢田啓吾/準グランプリ 慶應義塾大学「liver in the desert」 石井壮太郎/  
 学生アニメアワード部門 グランプリ デジタルハリウッド「LIFE LINE」 西村丞二/漫画アワード グランプリ 宝塚大学「さだこさんのおんがえし」 幸村佳苗  
 第13回 学生映画アワード部門短編 グランプリ 日本大学芸術学部「陽だまりの花」 相馬寿樹/準グランプリ 立教大学「シューカツ(仮)」 野村稔/  
 学生映画アワード部門長編 グランプリ 日本大学芸術学部「麻子タマとわたし」 高杉麻子/準グランプリ 日本大学芸術学部「飛ぶツツチノコ」 太田貴寛/  
 学生映画アワード部門高校生 グランプリ 国学院高校「道化師の悪戯」 上野俊介  
 第14回 学生映画アワード部門長編 グランプリ 鳥取県「灰色の青春」 天野友二郎/準グランプリ 龍谷大学「WILL」 土井笑生/  
 学生映画アワード部門短編 グランプリ 慶應義塾大学「キミの隣のボクへ」 小林令奈/準グランプリ 立命館大学「マインドギア」 長尾淳史  
 第15回 学生映画アワード部門長編 グランプリ 大阪芸術大学「トブ川番外地」 渡邊安悟/学生映画アワード部門短編 グランプリ 桜美林大学「路上ライブ」 大林泉輝/  
 準グランプリ 多摩美術大学「なみぎわ」 常間地裕/審査員特別賞 東京放送芸術&映画、俳優専門学校「僕の秘密の東京」 王奔/  
 審査員賞 立教大学「あくまのきゆうざい」 三重野広帆  
 第16回 学生ムービーアワード グランプリ 佐賀大学「クリスマス・グリーティング」 西遼太郎/準グランプリ 東北芸術工科大学「儘ならぬ恋の目論見」 小山 和生/  
 ショートムービーアワード グランプリ 武蔵野美術大学「ACCEPT」 楊翔安/準グランプリ 名古屋学芸大学「だれもない」 平野汐音  
 第17回 JCF学生映画祭 in 奄美大島&与路島  
 与路島プログラム 2024年3月8日～9日開催(鹿児島県奄美大島 与路島公民館) 奄美大島プログラム 2024年3月23日～24日開催(アマホームPLAZA)

# 与路島プログラム (2024年3月8日・9日)



## 2024年3月8日(金曜日) 会場:与路島公民館

18:00	開会式	ご挨拶 与路集落 信島 豊武(のぶしま とよたけ)区長より
	開会歓迎の島唄	三線演奏・唄者 唄者・里 朋樹(さとともき)氏の島唄(10分)
	基調講演	特別講演「与路島の歴史について」(30分) 学芸員・町 健次郎(まち けんじろう)氏
	学生映画監督スカラシップ作品 上映	第14回JCF学生映画祭・準GPの長尾 敦史監督による JCFスカラシップ作品「アマミノクロウサギ保護啓発ムービー」(3分)
	学生映画監督作品 予告編上映	「完璧な若い女性」の予告編(3分) 武蔵野美術大学 渡邊 龍平監督 卒業制作作品 「喝采」の予告編(3分) 京都精華大学 平尾 匠監督 卒業制作作品
	与路小中学校生徒の演劇ムービー	与路小中学校の児童・生徒による島口劇「となりのヨロロ」(8分)
	交流会	宇検村キッチンカー「さちまる」ご来場

## 2024年3月9日(土曜日) 会場:与路島公民館

8:30	開催地プロモーション	島内案内(与路島観光協会)
		地元の生徒たちと交流(与路小中学校)
10:00	学生映画監督卒業制作ノミネート招待作品上映	「完璧な若い女性」(66分) 武蔵野美術大学 渡邊 龍平監督 卒業制作作品
11:30	学生映画監督卒業制作ノミネート招待作品上映	「喝采」(34分) 京都精華大学 平尾 匠監督 卒業制作作品
13:00	お言葉	ご挨拶 与路小中学校 川井 功作校長より
	招待作品上映	「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」 (監督:佐竹 敦子・制作:NPO団体カフェテリアカルチャー)
15:00	閉会式	閉会のご挨拶 与路島観光協会 榮 勝永(さかえ かつなが)会長より
16:00	船のお見送り	与路港

## 与路島プログラム 出演者様の紹介



### 里 朋樹【三線演奏:島唄】

夏祭りで聴いたシマ唄に惹かれて、7歳から妹歩寿(ありす)とともに、シマ唄と三味線を習い始めた。2003年には奄美島唄会最年少で兄妹のCDが発売された。録音時は12歳で、声変わり前の少年の唄であるが、力強い高音は出色。

2003年より変声期のため活動を休止していたが、2008年活動を再開。大学進学で奄美を離れ、関西を中心に全国各地でイベントに出演。奄美に帰郷し、11年ぶりに出場した2019年の奄美民謡大賞では青年の部で優秀賞と特別賞を受賞。2023年には奄美民謡大賞を受賞。史上初の兄妹での奄美民謡大賞受賞者となった。



### 町 健次郎【特別講演:与路島の歴史について】

「奄美大島開闢神話の民俗学的研究」の論文で博士号取得(琉球大学大学院)。  
奄美大島にある郷土館の学芸員で、与路島を含む奄美群島の歴史・文化・民俗の専門家。

### 与路小中学校の児童・生徒【島口劇:となりのヨロロ】



人口56人の奄美大島最南端の有人離島・与路島の小中学校の児童・生徒が、島口で演じた創作劇「となりのヨロロ」。

与路小中学校には、海の子留学で島外から一年間留学してこられた子供たちと島生まれの子供たちが仲良く通っています。今年3月、島生まれの生徒が卒業します。卒業は別れだけでなく、新しい出会いと挑戦への旅立ちです。

### 宇検村キッチンカー「さちまる」 宇検村からやってくる!



2023年の2月に埼玉県より宇検村の平田(へだ)に親族の実家に移住してきた中田さゆりさんが地域のお年寄りに手軽にごはんをとの想いで手打ちうどんをメインに週2日キッチンカーで営業中。今回、特別に友情出演!

【営業日】 週2で営業  
日曜:宇検村平田集落、売店向かいにて...11:30~13:30  
火曜:湯湾[ケンムンの館]駐車場にて...11:30~13:30  
※不定休のため、インスタにスケジュールを載せています。

### 「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」(監督:佐竹敦子・制作:NPO団体カフェテリアカルチャー)

上映日時/2024年3月9日(土曜日) 13:30~(予定) 2024年3月24日(日曜日) 13:00~



National Parks JAPAN presents SDGsMovies ShowCase SDGs 特別招待作品

「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」は、ニューヨーク・ブルックリンの小学生5年生の生徒たちが、プラスチック汚染問題の根っこは何なのか?という生徒たちの視点で問いただし、解決に向かって生徒たちが居住する地域からアクションを広げて行くまでの2年間の取り組みを、日本人の佐竹敦子監督が追った長編ドキュメンタリー映画作品です。制作はニューヨーク市を拠点とする非営利の環境教育団体カフェテリアカルチャーで、2009年に Styrofoam Out of Schools として創設され、ニューヨーク市内の公立小中学校での環境教育プログラムを活動基盤とし、常に学校を拠点とした政策提言活動やプラスチック削減のキャンペーンを実施しています。子ども達のまっすぐな熱意から希望がみえるマイクロプラスチック・ストーリーは、世界44の映画祭に選ばれ8つの賞を受賞しています。

# 奄美大島プログラム (2024年3月23日・24日)



2024年3月23日(土曜日) 会場:アマホームプラザ(奄美市市民交流センター)

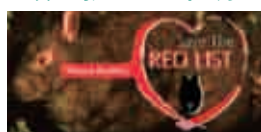
世界自然遺産登録地・奄美大島開催 特別記念プログラム		
共催:IAHF JAPAN(国際動物病院連盟)・絶滅危惧種保護プロジェクト Save the Red List Project		
11:00	National Parks Japan Presents 大山隠岐国立公園 オオサンショウウオ保護活動報告	NPO法人サステナブル大山 リチャード・ピアス理事長 (一般社団法人ナショナルパークスジャパン 理事)
11:40	アニマルムービー上映	「生物多様性って何だろう?」(97分)(企画・発行:財団法人奄美文化財団)
14:00	ネコのフォーラム 「奄美でのネコ問題について」	・スピーカー:一般社団法人奄美ねこ部 理事長/久野 優子 ・IAHF Japan(国際動物病院連盟)日本事務局長・ウエブスクウェア 代表取締役社長/小澤 智雄 ・Save The RED LIST Project 事務局長/久保 健太 ・株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ 代表取締役社長/荒川 弘之(獣医学博士) ・Enrich Japan株式会社 代表取締役/後藤 慎史(獣医師) ・株式会社ねこのタミ 代表取締役/辻 建三 ・一般社団法人ナショナルパークスジャパン 理事・共同ファウンダー/太田 雅人

2024年3月24日(日曜日) 会場:アマホームプラザ(奄美市市民交流センター)

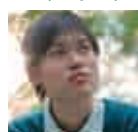
10:00	開会式 オープニング上映	第14回JCF学生映画祭・準GPの長尾 敦史監督による JCFスカラシップ作品「アマミノクロウサギ保護啓発ムービー」(3分)
10:05	与路島プログラム開催記念	与路小中学校の児童・生徒による島口劇「となりのヨロ口」(8分)
10:15	学生映画アワード ・端くれ	グランプリ 成蹊大学 4年生/渡部 拓人(27分11秒)
10:45	・母さんの「か」	入賞 北海道情報大学 2年生/武藤 楽(14分51秒)
11:00	・BULAN	入賞 尾道市立大学 3年生/ゲラルディ・サロモ・バンケレゴ(2分33秒)
11:05	・喝采	入賞 京都精華大学 卒業生/平尾 匠(33分)
11:40	・Halfway Line	準グランプリ 日本映画大学 4年生/本多 俊介(22分)
12:05	・完璧な若い女性	審査員特別賞 武蔵野美術大学 4年生/渡邊 龍平(65分)
13:30	特別招待作品上映	「マイクロプラスチック・ストーリー ~ぼくらが作る2050年~」 (監督:佐竹敦子・制作:NPO団体カフェテリアカルチャー)(76分)
15:00	閉会式	

## 上映作品

JCFスカラシップ作品「アマミノクロウサギ保護啓発ムービー」(監督:長尾敦史 第14回JCF学生映画祭 準グランプリ)  
上映日時/2024年3月8日(金曜日) 18:30~(予定) 2024年3月24日(日曜日) 10:00~



第14回JCF学生映画祭映画部門へ「マインドギア」で短編部門準グランプリを受賞した長尾敦史監督(立命館大学)が、絶滅危惧種の保護活動【Save the Red List Project】に取り組むエルムスユナイテッド動物病院グループのご協賛で「JCFスカラシップ作品」としてアマミノクロウサギ保護啓発映像【Nature Bubble】を2017年に制作し特に旅行者のロードキル防止の啓発活動を実施しました。



**長尾敦史監督プロフィール**  
1994年滋賀県出身。立命館大学映像学部卒業。  
在学中 JCF学生映画祭短編部門にて、準グランプリ/ベストアクター賞/大阪観光局長賞を受賞し、「JCFスカラシップ作品」として、アマミノクロウサギ保護啓発映像を制作した。その後も、奄美群島・請島を舞台にしたブランドムービーの監督、脚本を担当するなど奄美との関わりも深い。ダマール国際映画祭2019観客賞、カナザワ映画祭2017期待の新人監督他受賞。現在、映像ディレクターとして活動している。

## 第17回 JCF学生映画アワード 入賞上映作品のご紹介

**グランプリ 端くれ** 監督:成蹊大学4年 渡部 拓人

大学卒業を間近に控えた今、就職する者や併優としてもがいている者、音楽の道で覚悟を決めた者など、それぞれが人生の岐路に立たされていると感じます。そんな様々な想いを抱いている僕たちのすべての選択肢を尊重したい。そっと背中を押したい。そんな気持ちで製作したこの世に生きる全ての「端くれ」たちに捧ぐ映画です。楽しんで頂ければ幸いです。

**渡部 拓人プロフィール**  
2001年生まれ。東京都出身。成蹊大学在学。大学在学中に製作した作品は「TOKYO青春映画祭2023」、「第24回ハンブルク日本映画祭」など、国内外の多数の映画祭において評価を得る。卒業後は映画配給会社に入社予定。

**準グランプリ Halfway Line** 監督:日本映画大学4年 本多 俊介

日本から韓国へサッカー留学した大学生の航海はチームに上手く馴染めず、チームメイトのジュンクと衝突してしまう。サッカーを通じてふつかり合い、そして心を通わせていく日本人と韓国人の姿を描いた本作は、日本映画大学と韓国芸術総合学校による日韓合同で制作された。

**本多 俊介プロフィール**  
2000年生まれ。群馬県出身。日本映画大学に進学後、映画演出を専門に学ぶ。今までに2本の短編を監督し、本作「Halfway Line」が在学中3本目の監督作品となる。

**審査員特別賞 完璧な若い女性** 監督:武蔵野美術大学4年 渡邊 龍平

SoundCloudなどを中心に活躍する、perfect young ladyを迎えて送る現代版歌謡映画! 幼馴染との夏、静岡を舞台に「再会」と「出会い」そして「別れ」の中で「完璧な若い女性」を探る3日間の旅。

**渡邊龍平監督プロフィール**  
2000年、東京都東部の五子焼屋の家に生まれる。幼い頃から昭和の映画や音楽に慣れ親しみ、武蔵野美術大学映像学科に入学。自主映画祭の開催や映画製作を開始。長編映画1作目の「完璧な若い女性」が第45回「ひあフィルムフェスティバル」でエンタテインメント賞(ホリプロ賞)などを受賞。

**入賞 喝采** 監督:京都精華大学2023年卒業生 平尾 匠

大学に入学した脚本家志望の新島は、演劇部で才能のある井上と出会う。井上の才能を目にし、新島は自分には何が書けるのか思い悩み、次第に作品と現実の区別が曖昧になっていく。

**平尾 匠プロフィール**  
2000年7月19日生まれ。2019年京都精華大学に入学。大学にて映像を学び映画を制作し始める。大学時代に制作した映画「喝采」は京都国際学生映画祭にて入選。現在は京都の映像制作会社に勤務しつつ、個人でも活動を続ける。

**入賞 BULAN** 監督:尾道市立大学3年 Gheraldy Salomo Pankerego

マレーシアのアーティストの日記から生まれた作品だった。彼女は母親として娘に対して愛情を表し、ノートでスケッチを描いた。そのノートを基にして自分の役割は作品を動かしたことがあった。インドネシアにいたミュージシャンを加えて3人のコラボレーション作品である。「プラン」とはマレー語で「月」という意味。

**Gheraldy Salomo Pankeregoプロフィール**  
インドネシア出身であり、2018年に留学生として来日した。日本のセルアニメに憧れて、主に自主制作では手描きアニメーションを作っている。

**入賞 母さんの「か」** 監督:北海道情報大学2年 武藤 楽

あなたの「忘れられない味」忘れたくない味は何ですか? 本作では、おふくろの味を通じて希望を持ち前へ進もうとする兄弟の姿を描きました。家族、大切な人愛することについて考えるきっかけになれば幸いです。

**武藤 楽プロフィール**  
2003年生まれ。北海道河内郡芽室町出身。北海道情報大学 情報メディア学部在学中。映像表現について学びながら、短編映画を中心に制作している。本作「母さんの「か」」が初監督作品となる。

# 世界自然遺産登録地開催特別記念プログラム

共催:IAHF JAPAN(国際動物病院連盟)・絶滅危惧種保護プロジェクト Save the Red List Project



写真展ポスター



## ■展開概要

- 主催:Save The RED LISTプロジェクト実行委員会
- 展開プロジェクト
  - ・「まもりたい まもるべき生きものたち」写真展プロジェクト
  - ・「アマミノクロウサギの保護啓発ムービー」制作プロジェクト
- 協賛:エルムスユニテッド動物病院グループ
- 後援:環境省「まもりたい まもるべき生きものたち」写真展プロジェクト
- 協力:コウノトリ湿地ネット、丹波地域のホトケドジョウを守る会、猛禽類医学研究所、とくしま自然観察の会

## 共催団体

## ■Save The RED LIST Project とは

Save The RED LIST Project は、エルムスユニテッド動物病院グループが、CSR活動の一環として、絶滅危惧種の保護活動への貢献を目指して上げたプロジェクトです。世界では数多くの野生生物が、開発や人が持ち込んだ外来生物、乱獲、地球温暖化などにより、絶滅の危機に瀕しています。2016年にIUCN(国際自然保護連合)がまとめた、「レッドリスト」には、絶滅の危険の高い種として、12,316種の野生動物と、11,577種の植物がリストアップされ、日本においては、環境省のレッドリストには1,372種が絶滅危惧種が取り上げられております。本プロジェクトは、絶滅危惧種の保護啓発を通じて少しでも多くの人に地球の環境保全について考えるきっかけを提供することを目的として活動しています。

## 特別協賛

## 株式会社エルムスユニテッド動物病院グループ



MRIやCTを保有する高度医療センターや副センター病院と一次病院、戦略的クリニックの10院を運営。先進医療領域では東京大学医学部付属病院や慶應義塾大学医学部付属病院、(一社)AIM医学研究所と共同研究を実施。現在、AIを活用した獣医療DX分野や増加するネコ診療に「わたしのネコのクリニック」のネコ専門クリニックの展開に注力。

〒112-0002 東京都文京区小石川3丁目30番11号 クレール小石川1階 URL:https://www.elms-united.net  
□センター病院:八幡山院/東京都杉並区上高井戸13丁目14番4号  
□副センター病院:柏の葉院/千葉県柏市若柴175 ららばーと柏の葉1階  
□一次病院:東京都・文京院/豊島院、千葉県・松戸院、埼玉県・上尾院、大阪府・東大阪院、奈良県・奈良院  
□クリニック:芦花公園クリニック(往診専門)、離島クリニック

## 共催団体

## IAHF Japan(国際動物病院連盟)

国際的な動物病院のネットワークで、野生生物の保護や地球環境、生態系の保全を動物病院、獣医師、獣看護師を中心に行う活動を行っています。このたび、設立された日本事務局では日本での活動を推進致します。

## 後援団体

## (一社)ナショナルパークスジャパン

国立公園・国定公園及びバッファゾーンを含むエリアに棲息する絶滅危惧種・希少種等の野生生物(哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫)やその生態系の保護・保全を行う野生生物保護団体に支援する活動を行っています。

## NationalParks Japan Presents オオサンショウウオ保護活動レポート

スピーカー:NPO法人サステナブル大山 リチャード・ピアス 代表理事



●2024年3月23日(土) 11:00~ ●会場:アマホームプラザ(旧奄美市市民交流センター)

大山・名和川流域に生息する(1952年に特別天然記念物に指定されている)オオサンショウウオとその特異な生息環境を保護することを採用として活動する鳥取県大山町のNPO法人サステナブル大山の活動を報告。オオサンショウウオは現在、絶滅危惧種II種に分類されています。

<https://www.sustainabledaisen.org/>

## IAHF Japan(国際動物病院連盟)Presents 奄美のネコ事情

スピーカー:(一社)奄美猫部 久野優子 代表理事

●2024年3月23日(土) 14:00~ ●会場:アマホームプラザ(旧奄美市市民交流センター)



猫の適性飼育の啓発やノラネコ対策及び研究保護猫のシェルター及び譲渡活動を行う(一社)奄美猫部の活動と奄美大島でのネコ事情の報告。

<https://www.sustainabledaisen.org/>